

# 狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

## 1 ジャンル

小学校6年生

学級活動

C2 協働での意見整理

児童生徒

## 2 概要

学級の歌の原曲が決まったので、歌詞をみんなで考えながら作っていく。

リアルタイムで編集された歌詞を共有し、見比べ、吟味していく活動を通した学級の意思決定を行っていく。

①事前に決まった曲にあう歌詞を各自(各グループ)で考え、クラスノートに打ち込む。

②編集されたクラスノートを教員がコピー＆ペーストでコンテンツライブラリ、ワードに保存。

③司会グループはワードファイルを編集していく。会議参加者は編集のできないコンテンツライブラリを参照。

## 単元(題材)名

話し合い活動 議題『学級の歌を決めよう』

## 単元(題材)目標

クラスの思い出となるような、学級目標にあった歌を作ろう

## 活用したICT機器、アプリケーション等

GIGA端末、Microsoft Teams、class note、Microsoft Word

## 本時のめあて

協力して 完成させよう

## 写真・記録



## 本時の展開の概要

司会のワードファイルを大画面に映し、出てきた意見にラインマーカーを引く。

個人の意見から使用したい歌詞がでそろったところで、教員がワードファイルをコピー＆ペースト。

マーカーが引かれた歌詞を一つの歌にまとめていく。

## ICT機器の活用でねらった効果

- リアルタイムでの編集と情報共有。
- 自分の手元にある資料で容量の多い情報を同時処理していく能力の育成。
- 学級会の新しいスタイル。

## 児童生徒の様子(成果や課題)

- 児童の振り返りから
- まとめる作業の時のタイピングが大変だった。
  - 少し慣れなかったけど、初めてにしてはけっこう上手にできた。
  - 手を挙げなくても、自分の意見が案の中にあっただけで良かった。
- 【司会グループ】
- 意見をしっかり聞いて、タブレットにメモを取れた。
  - 初めてのタブレットを使った学級会の司会グループだったが、決めきることができなかった。次回は決めきりたい。
- ◎半分の児童は、編集できる資料が手元にあり、タブレット学級会がやり易いと答えていた。
- ◎普段、挙手して発言が苦手な児童の案も掲載できた。
- ◎応用すれば、学級会グッズがなくても従来の比べ合いができる。
- △慣れが必要。
- △クラスノートの使い方を担任が把握する必要がある。
- △全員で協働編集をしたいが、全員でやると、どうしても誤動作をしてしまう児童がいる。

狭山市立柏原小学校 名前: